

第23回 清川村子ども議会(後半)



先月号に続き、役場庁舎3階・議場で2月16日に行われた第23回清川村子ども議会の後半のようすをご紹介します。

問 学校教育課 ☎(288)1215

4班

清川村の歴史イベントの開催



清川村には、長者屋敷伝説や法論堂のとうもろこし伝説などの多くのすごい逸話や、花蔵院や正住寺には、素晴らしい有形文化財があることを知らない人が多いです。そこで2つの歴史イベントを提案します。1つは清川村でお寺を巡るスタンプラリーで、もう1つは逸話を基にした時代劇を提案します。



村の指定重要文化財は開帳と言って、例えば、正住寺では1月5日と10月5日に、花蔵院では春と秋のお彼岸の時期に、一般の方が見学することができます。またスタンプラリーに関しても、お寺さんに相談する必要がありますが、郷土の歴史や文化に興味を持ち理解してもらうことは、郷土愛にもつながりますので、お寺や村の指定重要文化財を巡る歴史イベ



ントが開催できるよう、村の文化財を守る委員の皆さんにも相談したいと考えています。

逸話に関する劇の開催や動画サイトへのアップについては、脚本や演出、役者さんの手配などの面でも実現することには多くの課題があると思いますが、4班の皆さんが「やりたい」ということであれば、村としてもできる限りのお手伝いをしたいと考えています。

5班

宮ヶ瀬湖に水中トンネルを作りたい



宮ヶ瀬地区はダム建設に伴い、1988年に沈んでしまい、そこから手付かすため、水中トンネルがあれば当時の姿が分かると思います。ダムに沈んだ村というのは珍しく、ここに歩いて通れる水中トンネルという珍しさも加わり、観光客の注目が集まると思っています。

また宮ヶ瀬湖はとても水質が良いため、日中に太陽の光が差し込んで幻想的な景色になり、撮影した写真をSNSなどに上げ拡散することで、観光客の増加につながると考えました。



宮ヶ瀬湖の底には、道路や標識などが壊され

ずにそのまま残っているところもあるようですが、ダムの建設に伴って、当時の宮ヶ瀬地域に建っていた民家や公共施設などの建物は、ほとんどが残念ながら取り壊されてしまっており、仮に水中へ潜っても当時の町並みを見ること

ができません。

また、平成28年3月に国土交通省が行ったダムの水質調査の透明度は、7・1mだったため周囲を見渡すことは難しく、水族館と違って湖の底に光が入ってきませんので、皆さんが想像しているような幻想的な空間は、少し難しいと思います。しかし宮ヶ瀬湖は、村にとって貴重な観光資源であることには変わりありません。ほかにもいろいろなアイデアがありましたら、村でできそうなものは、どんどん進めて行きますので、ご提案していただきたいと思います。



後半の子ども議員の皆さん(敬称略)



5班

吉田 陽翔
三辻 佳
小峰 瑠璃
城所 巴琉

4班

朝倉 大誠
長谷 悠真
平川 拓海

議長…齋藤 瑞季
書記…大嶋 彩乃

心 新たに学び舎へ

4月5日、村内の中学校の入学式が、6日には小学校の入学式が、7日には清川幼稚園の入園式が行われ、きよかわっ子たちの新たな学び舎での生活がスタートしました。

緑小学校には16人の児童が入学し、2年生の児童から1年間でできたことを紹介され、入学生は期待に胸を膨らませていました。

なお今年度の入学者数は次のとおりです。ご入園・ご入学おめでとうございます。

清川幼稚園	7人	あおぞら保育園	6人
緑小学校	16人	宮ヶ瀬小学校	0人
緑中学校	14人	宮ヶ瀬中学校	1人

